



玉川学園を巡回するコミュニティバス「玉ちゃんバス」には、「ハーイあっこです」のキャラクターたちが車体に描かれています。

「チッチとサリー」が登場する初恋漫画『小さな恋のものがたり』。



M 人の出入りも多く、いつも賑やかでした。担当編集の方は家族同様に寝泊まりしていました。担当が、来るたびに「坂がキツイ！」とフウフウ言っていました。

M Q それまで都心に住んでいたもので、ずいぶん遠いところへ来てしまったなあと、はじめは寂しく思いました(笑)。でも、舗装されていない坂道にあじさいが美しく咲いているのを見て、この街がいつぱんに好きになりました。

M Q 玉川学園の印象はいかがでした？

M Q 町田市玉川学園に住むことになったきっかけを教えてください。

(本文中、Mはみつはしちかこさん、Tは青木達郎さんです。)

漫画家

みつはしちかこさんの

住んだ町

町田市玉川学園

漫画家・みつはしちかこさんは、かつて家族と共に玉川学園に暮らしていました。この間に、作品「小さな恋のものがたり」「ハーイあっこです」などの漫画家としての代表作を次々に発表しています。今回は、当時の思い出をみつはしさんと次男の達郎さんに特別にインタビューさせていただきました！

みつはしちかこさん

1941年、茨城県生まれ。1962年、四コマ漫画「小さな恋のものがたり」でデビュー。詩文集、エッセイなど著書多数。2015年、手塚治虫文化賞特別賞、日本漫画家協会賞文部科学大臣賞受賞。



青木達郎さん

1972年、みつはしさんの次男として東京に生まれる。生後間もなくから26年間、玉川学園で過ごす。現在みつはしさんの所属事務所「株式会社スタジオポケット」を運営。



Q ご家族の思い出はありますか？

T 玉川学園は個人商店が沢山あって、魚屋さん、酒屋さん、お肉屋さん、八百屋さんなど、みんな親戚のようでした。母と一緒によく買い物に行きました。

M 風月堂の山型ブレッドが美味しくて、家族みんなのお気に入りでした。そうそう、明治屋(八百屋)では焼き芋もよく買いました。駅前の喫茶店コロラドをいつも編集者との打ち合わせに使っていましたね。

Q 今回、町田で展覧会が開催されることについて、何か伝えたいことはありますか？

M 玉川学園は、私がいちばん忙しい時代で、いちばん思い出深い大事な街です。玉川学園のコミュニティバス「玉ちゃん号」には、「ハーイあっこです」のキャラクターをラッピングしてもらいました。今回の展覧会は、同窓会で懐かしい皆さんにお会いするような気分です(笑)。

二〇一八年六月二十八日収録

・・・この秋 チッチが町田に帰ってきます！

町田市民文学館 ことばらんど 秋の展覧会

みつはしちかこ展 - 恋と、まんがと、青春と -

●展覧会会期●

2018年10月20日(土) ⇒ 12月24日(月・振休)  
観覧時間：10:00~17:00

●展覧会概要●

本年77歳を迎えたみつはしちかこ氏は、かつて家族と共に玉川学園に暮らしました。本展は、自身の体験をヒントに生み出されたエピソードと、みつはし氏の生んだ個性豊かなキャラクターが織りなす日常を描いた作品に着目し、その仕事を概観する市内初の本格的な展覧会です。

●入場料●

一般：400円 65歳以上・大学生：200円(高校生以下無料)

会期中来場のうえ、アンケートにご回答いただいた先着5,000名様にオリジナルリーフレットをプレゼント

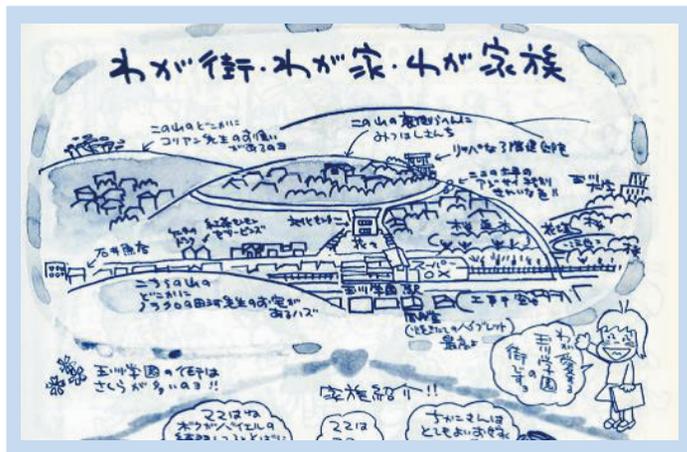


▲「雨の日の思い出」原画(部分) 『小さな恋のものがたり』より



▲「紅葉の中から」雑誌「いつかどこかで」表紙原画

▲みつはしさんは、玉川学園をかつてこのように紹介していました！



©Chikako Mitsuhashi

町田市民文学館 ことばらんど

町田市原町田4-16-17

TEL:042-739-3420

FAX:042-739-3421



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

この広報紙は、117,000部作成し、1部あたりの単価は4円です。(職員人件費を含みます。)